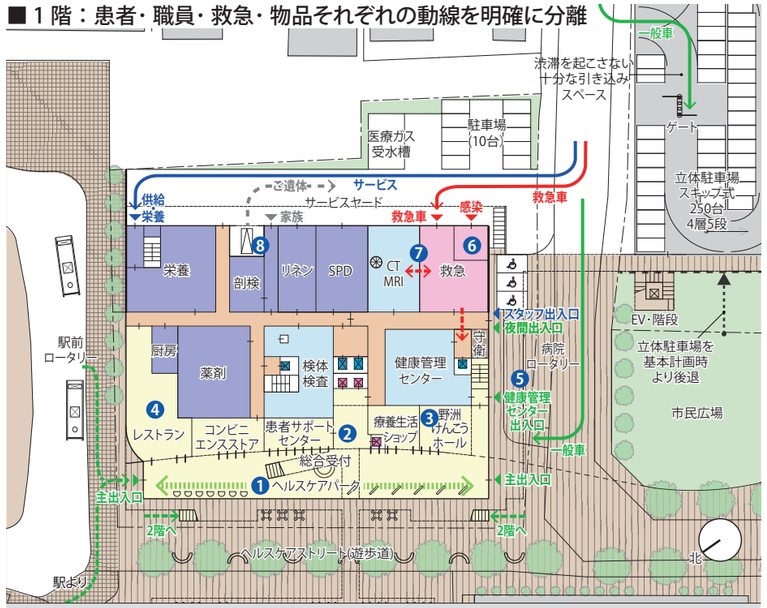
地域包括ケアシステムの拠点病院を目指します

提案テーマ（２）（３）

■１階：患者・職員・救急・物品それぞれの動線を明確に分離



❶「ヘルスケアパーク」
- 市民に様々な健康情報を提供
- 開放運用が可能な仕様のインナー広場として、交流 / 商業施設、市民広場と連携した、朝市、フリーマーケット、祭りなどイベントにも活用

❷ **患者サポートセンター**
家族が安心して相談できる、地域医療・認知症などの、ソーシャルワーカー・看護師による「患者サポートセンター」窓口の設置

❸「**野洲けんこうホール**」は健康啓蒙活動に利用、ヘルスケアパークと連携した運用も可能

❹ 駅前ロータリー側にレストラン（職員含む）を配し地域に開放、地産地消、「かるしお」の推進

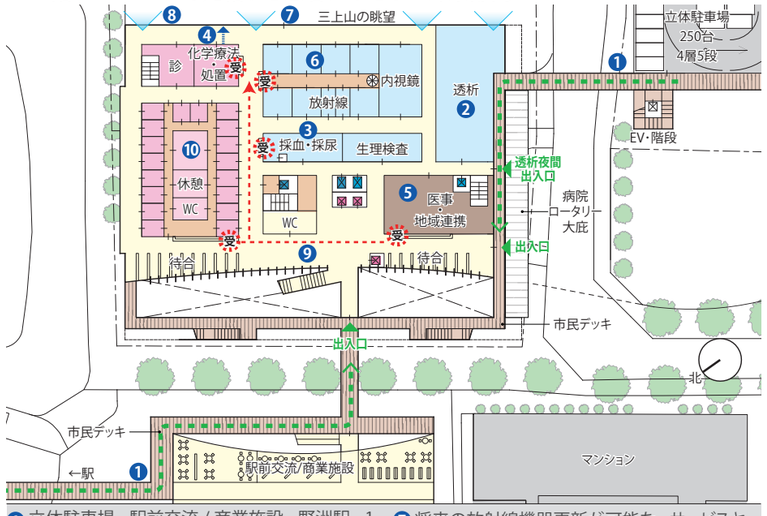
❺ 健診は病院と独立した出入り口を確保

❻ 感染の疑いのある患者は救急部門の独立した診察室を使用。

❼ 救急 CT・MRI を直結し緊急医療に対応

❽ ご遺体は人目に触れずに、お見送り可能

■２階：ワンフロアで完結する患者にやさしい外来部門



❶ 立体駐車場、駅前交流 / 商業施設、野洲駅、1 階遊歩道とつながる「市民デッキ」

❷ 透析は時間外運用が可能なゾーニング

❸ 1, 2 階上下でつながる採血・採尿・検体検査

❹ 需要に伴い増設可能な化学療法

❺ 地域連携と運用しやすい医事課の配置

❻ 将来の機器更新に予備スペース・荷重を確保した画像エリア

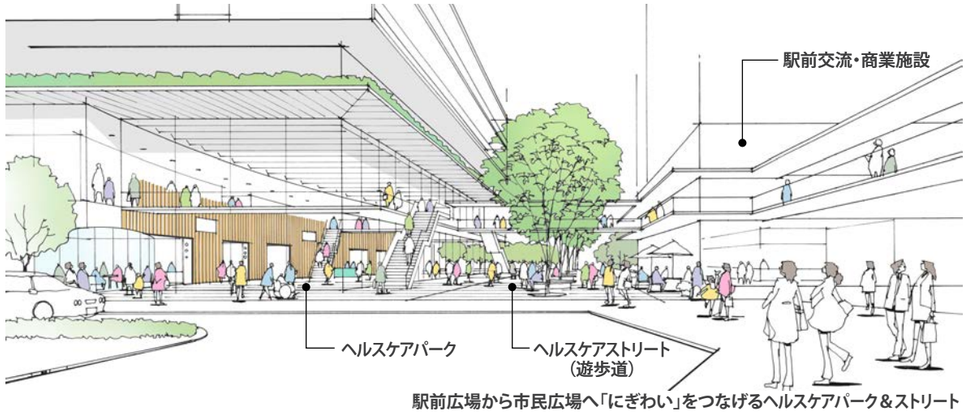
❼ 将来の放射線機器更新が可能な、サービスヤードに面した搬出経路

❽「三上山」を眺望でき、不安を和らげる明るい外来待合空間

❾ 外来診療はワンフロアで完結するため、患者は上下移動のストレスなく診察を完了

❿ 診察スタッフ専用ゾーンに、休憩・トイレを配し、アメニティを充実

【凡例】 外来ゾーン　スタッフゾーン　外来部門　診療部門　サービス部門　管理部門　病室　階段　一般用EV　医療用EV　患者動線　救急動線　スタッフ・搬入動線



駅前広場から市民広場へ「にぎわい」をつなげるヘルスケアパーク＆ストリート

01. 患者に優しい施設

提案テーマ（３）

1 外来の計画（2 階）

- ワンフロアで外来診療が完結する計画。
- 全ての受付が見渡せるわかりやすい計画。
- 待合から「三上山」が望め、心和らぐ空間。

2 病棟の計画（4, 5 階）

- 在宅復帰機能を高めるリハビリ病棟計画。
- 見守りしやすい個室ゾーン（4 階❽）と生活機能訓練もできる廊下。
- 廊下は三上山、市民広場の眺望を楽しみながら歩行訓練ができる周回動線の計画。（4 階❾）

4 床室ゾーンの廊下周り

3 バリアフリーホスピタル

- 患者・家族の立場からプライバシーの配慮。
- ユニバーサルデザインの徹底。
- 誰にでも分かりやすいサイン計画、安らぎを与えるホスピタルアートの採用。
- 転倒事故の防止に備えたクッション床材の採用。

02. 安全で安心な動線計画

提案テーマ（２）（３）

1 **人：**1、2 階出入り口は、人の流れを生むヘルスケアストリート（遊歩道）近くに計画。

2 **病院ロータリー：**大庇のある広場側病院ロータリーは、広く長く確保し、安全な乗降が可能。

3 **立体駐車場：**出入り口は引き込みスペースを十分確保し、道路へ渋滞しない計画。

4 **救急・サービスヤード：**施設南側に集約。

03. 働きやすいゾーニング

提案テーマ（３）

1 機能的な動線計画

- 救急外来、CT、MRI を隣接。（1 階❼）
- 救急と手術は EV 搬送により緊急対応可能。（3 階❶）
- 健康管理センターは専用出入り口を設け（1 階❺）検査、放射線への動線は患者と交錯させない。
- 透析は夜間利用も可能な駐車場に近い専用入り口を確保。（2 階❷）

2 働きやすいスタッフ環境の整備

- 1 階 CT,MRI と 2 階放射線診断（1 階❼）4 階リハと 3 階リハを結ぶ（3 階❼）内部スタッフ階段の計画。
- スタッフが利用可能なラウンジ、図書コーナーを整備し、コミュニティ環境を充実。（3 階❺❻）
- 女性スタッフへも配慮した休憩室、パウダールームなどアメニティーの充実。

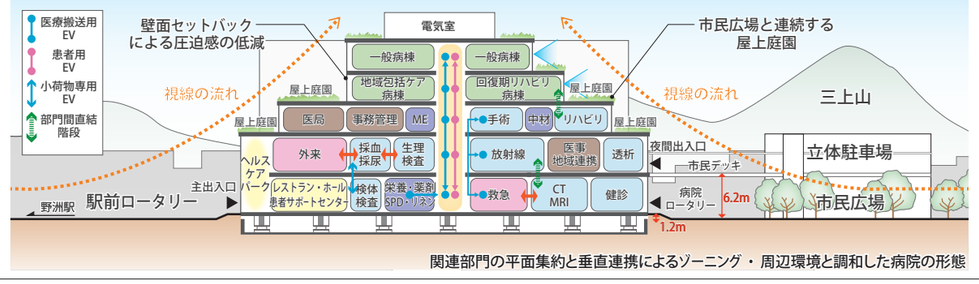
リラックスできるスタッフラウンジ（３階❺）

04. 周辺環境との調和

提案テーマ（２）

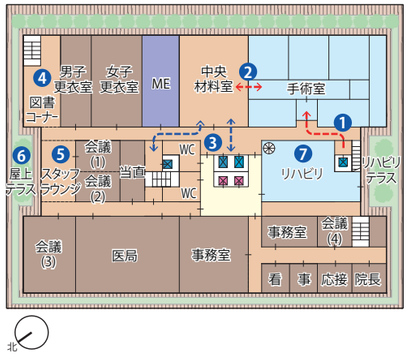
1 周辺環境を取り込んだ病院の形態

- 病棟形態は、駅前ロータリーと市民広場側へ一部建物をセットバックさせたＨ型とし、壁面を無くすことで、まちに対する圧迫感を軽減。
- 屋根レベルを緑化して、段状の緑が市民広場と立体的に連続し、広場からさらに広がる緑の連携と、緑の少ない駅前の景観向上に貢献。



関連部門の平面集約と垂直連携によるゾーニング・周辺環境と調和した病院の形態

■３階：集約による効率的な業務を可能にする手術・管理部門



❶ 手術部は 1 階救急と EV により直結

❷ 手術部、中材を隣接し、迅速対応が可能

❸ 中材は他階、外部からの供給がしやすい配置

❹ スタッフがスキルアップに利用可能な図書コーナーの設置

❺ スタッフラウンジを駅前広場に面して配置

❻ 屋上テラスはスタッフ専用の憩いの場

❼ リハビリは 4 階病棟リハビリスペースと直通階段により連携して運用可能

■４階病棟：安らげる療養環境に配慮した計画

（回復期リハビリテーション病棟 50 床、地域包括ケア病棟 49 床）

❶ 屋上庭園は療養の憩いの場

❷ 屋上庭園に面し、広々とした病棟リハビリスペース

❸ 見守りコーナーのある観察 3 床

❹ 生活機能訓練が可能なシャワーユニット、WC を設けた 4 床室ゾーン

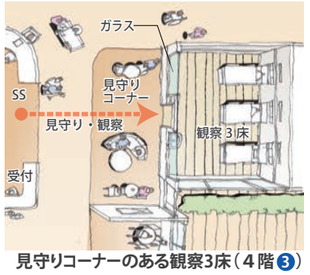
❺ リハビリ職員休憩室確保

❻ 三上山を眺望できるデイ

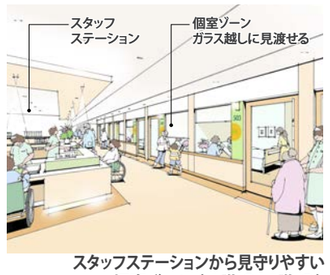
❼ 患者用ＥＶ前に受付を設け、セキュリティー対応

❽ 見守りしやすいＳＳ前の個室ゾーン

❾ 距離を選択できるリハビリ周回廊下

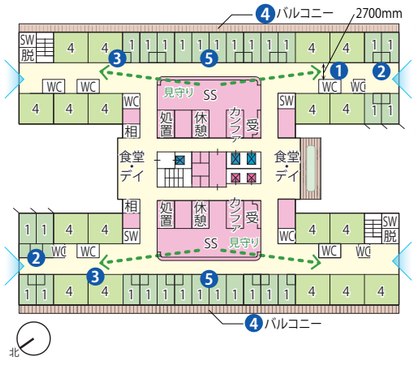


見守りコーナーのある観察3床（４階❸）



スタッフステーションから見守りやすい個室ゾーン（４階❽、5階❺）

■５階病棟：2025 年を見越した計画（一般病棟 50 床 ×2　個室率 28%）



❶ 将来を見越して廊下幅（2.7m）・リハビリスペースを確保

❷ 差額 1 床室は落ち着いた環境に配置

❸ 4 床室一部の床を浮床システムとし、将来トイレを含めた個室への改修が下階に影響なく可能

❹ 火災時消防活動・病室日射除けを兼ねたバルコニーの設置

❺ 見守りしやすいＳＳ前の個室ゾーン

【凡例】 外来ゾーン　スタッフゾーン　外来部門　診療部門　サービス部門　管理部門　病室　階段　一般用EV　医療用EV　患者動線　救急動線　スタッフ・搬入動線